

谷口隆明（たかあき）

問1 あなたが最も解決する必要があると考える庄原の課題は何ですか。

- ・中国山地の条件に合った家族農業や自伐型林業の推進で、基幹産業である農林業の持続的発展、さらに市内に眠っている再生可能エネルギーと省エネ対策で、雇用の創出と市内循環型の地域経済を構築すること。
- ・子どもからお年寄りまで、だれもが安心して暮らせる地域づくり。医療、福祉への投資の経済波及効果はきわめて多きいので、この部門への財政支出を思い切って進めること。

問2 上記1で答えた課題の解決に向けてどのように取り組んでいきますか。

- ・前提として、防衛費ばかり突出して増大させ、国民向け予算は物価上昇にも追いつかず実質マイナスという政府の予算に、市長会、市・町村議長会などを先頭に地方財源の確保を強く迫ること。
- ・国連の「家族農業 10 年」の立場で、生態系をいかした持続可能な農業(アグロエコロジー)を拡大する。そのとりかかりとして全国の先進例に学び学校給食などへの公共的な調達を増やしていく。大規模林業一辺倒でなく、自然に優しい自伐型林業を行政としても推進する。「2050年CO<sub>2</sub>排出ゼロ」を表明した自治体として、市内に賦存する再生可能エネルギーを活用するために、行政としても目標をもって進めること。家族農業・自伐型林業の実践者として、以上のようなことを引き続き政策提言していきたい。

問3 なぜ、市議会議員を目指したのか。

大学で農業経済論を学び、国の基幹産業である農業が年々厳しくなる状況に危機感を感じたこと。1980年代の「行政改革」ブームで、東城中学校の学校給食が愛情弁当論で廃止され、それに反対し復活を求める運動の中で、1991年に36歳で東城町議選に初当選しました。それ以来、市民の普通の声を行政に届けるため議員を続けています。